

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ		平成8年3月4日	竹内 常高		〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝三丁目3番1号 (電話) 093-882-0001		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999		
目的	短大(保育科)卒業にともなう保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格の取得をめざす。実習第一のカリキュラムで、『現場で即戦力となる幼稚園教諭・保育士を養成すると共に、社会福祉士受験資格を取得することにより、子どもから障害者、高齢者まで福祉全般に対応できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	子ども福祉科		平成22年文部科学省告示第152号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
120		55	3		33	36	
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 教育目標に準じた総合評価を行う。評価はS・A・B・C・Dの5ランクとする。		
長期休み	■夏季:7月28日～8月31日 ■冬季:12月22日～1月5日 ■春季:3月1日～4月5日		卒業・進級条件		ア.指定科目すべての修得 イ.各学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人、保護者への電話連絡等を行う。		課外活動		■課外活動の種類 運動部活動、文化系部活動等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 保育、社会福祉業界		主な資格・検定等		幼稚園教諭2種免許 保育士資格 社会福祉主事任用資格 社会福祉士国家試験受験資格		
	■就職率 <sup>※1</sup> : 100%						
	■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 100%						
	■その他 なし						
(平成 27 年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)							
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年4月1日 在学者 55名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 52名 (平成28年3月 卒業者をを含む)		■中退率 5.5%				
	■中途退学の主な理由 進路変更・経済的困難・人間関係						
	■中退防止のための取組 クラス担任による定期ガイダンスや三者面談の実施。 ハイパーQUの結果を踏まえた面談の実施。 国語のフォロー講座を実施 スクールカウンセラーの配置						
ホームページ	<a href="http://www.asojuku.ac.jp/amkc/">http://www.asojuku.ac.jp/amkc/</a>						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

子ども福祉科のカリキュラムは幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格および社会福祉士受験に必要な科目を履修することを基本に編成する。またそれぞれの資格取得には実習が必須とされるため、学校教育法に定める幼稚園、児童福祉法に定める保育園、厚生労働省が定める実習指導者要件を満たした施設等と連携し、現場実習を行う。実習先にいただいた評価や業界で仕事をされている兼任教員との情報交換、卒業生の就職先企業に対しお客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことによって得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
能美 和則	学校法人青山学園 青山幼稚園 理事長・園長
増田 吹子	学校法人鹿児島純心女子学園 鹿児島純心女子短期大学 講師
畠中 康夫	学校法人麻生塾 専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 事務長
藤井 成樹	学校法人麻生塾 専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 子ども福祉科リーダー

### (開催日時)

平成27年度

第1回 平成27年7月2日 16:00～17:00

第2回 平成27年11月10日 16:00～17:00

平成28年度

第1回 平成28年6月16日 16:00～17:00

第2回 平成28年11月11日 16:00～17:00予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

幼稚園教諭二種免許、保育士資格および社会福祉士受験に必要な実習を行うため、学校教育法に定める幼稚園、児童福祉法に定める保育園、厚生労働省が定める実習指導者要件を満たした施設等と連携を図る。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
相談援助実習(1年次分)	社会福祉施設で活躍されている専門職から福祉現場での実情や業務の講義、施設見学などを通し、社会福祉施設の業務の把握、利用者の方への理解を深め、福祉現場に対するイメージ化を図って行くことを目的とし、施設の実態等の知識を現場から学ぶ。	戸畑障害者地域活動センター、インクル大里、障害者支援施設母原、小倉南障害者地域活動センター、きく工芸舎、若松工芸舎、みどり園、八幡西障害者地域活動センター、インクルとばた、浅野工芸舎、はばたけ 計11施設
相談援助実習(2年次分)	相談援助実習(1年次分)での学びを基礎として、社会福祉施設で活躍されている専門職から福祉現場での現状や業務の講義、施設見学などを通し、社会福祉施設での業務の把握、利用者の方への理解を深め、福祉現場に対するイメージ化を図って行くことを目的とし、施設職員として求められる知識・技術・技能について現場での体験を通して学ぶ。	インクル春ヶ丘、インクル戸畑、戸畑障害者地域活動センター、インクルとばた、小倉南障害者地域活動センター、はばたけ、若松工芸舎、洞海工芸舎、八幡西障害者地域活動センター、インクル八千代、くすの園 計11施設

教育実習Ⅰ	専門教育科目で習得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的に、また総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していくことをねらいとする。このねらいを達成するために、見学・観察・参加実習を主とする実習を行う。	吉田幼稚園、中間東幼稚園、青山幼稚園、下関天使幼稚園、曾根ひかり幼稚園、清和幼稚園、水巻幼稚園等 計18園
教育実習Ⅱ	教育実習Ⅰでの学びを基礎として、専門教育科目で習得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら体験的に、また総合的に認識を深め、幼児教育に関わる理論と実践を統合していくことをねらいとする。このねらいを達成するために、観察・参加実習を主とする実習を行う。	明泉寺幼稚園、曾根ひかり幼稚園、香春幼稚園、なぎさ幼稚園、乳山幼稚園、霧ヶ丘幼稚園、幸幼稚園、緑等 計11園
保育実習Ⅰ（保育所）	これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学び、人間性豊かな保育士を養成することを目的とする。	三つ葉保育園、中間市立さくら保育園、永犬丸保育所、東保育園、洗心保育園、日豊保育園、水巻第一保育園等 計19園
保育実習Ⅰ（施設）	これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学び、人間性豊かな保育士を養成することを目的とする。児童養護施設又は障害者施設における、保育士の役割について理解する。	北九州乳児院、暁の鐘学園、門司ヶ関学園、聖小崎ホーム 計4園
保育実習Ⅱ	保育実習を基礎として、保育所での実習を行う。保育所保育の意義を理解し、望ましい子ども観や保育観を形成することを目的とする。保育士として必要な資質・能力・技能を修得するとともに、家庭と地域の生活実態に触れ、それぞれのニーズに合わせた支援を行うために必要な能力を身に付ける。	みのり保育園、大浜保育園、きくが丘保育園、つばさ保育園、三郎丸保育園、さんろくこどもえん、井堀保育園 計7園
保育実習Ⅲ	施設実習を基礎として、児童福祉施設又は障害者施設での実習を行う。実習先施設の役割や機能について実践を通して理解を深めることを目的とし、保育士の立場から、家庭や地域の生活実態に触れて、家庭支援のための知識・技術・判断力を培うとともに職業倫理等について理解する。	ややま園、門司障害者地域活動センター、あおぼの里、勝山学園 計4施設

### 3. 教員の研修等

#### （教員の研修等の基本方針）

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。

研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

専門教育に関し必要な知識及び技術を習得するため、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士養成に関する研修や各種業界団体の主催する会合等へ参加する。また教育者として、指導力の向上や学科運営のノウハウを体得できるような研修会へ参加する。

#### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
青木 圭子	福岡県立折尾高等学校 校長
池田 益三	医療法人北九州病院 北九州総合病院 事務部長
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長
伊藤 美穂	ホテル・ブライダル科卒業生
今仁 優衣	子ども福祉科卒業生
上田 恵理奈	医療事務系卒業生
大郷 直美	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 理事
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウィズワタベ 代表取締役
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 営業次長
城田 浩太郎	介護福祉科卒業生
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル グループサービスチーム担当部長
能美 和則	学校法人青山学園 青山幼稚園 園長
疋田 賢吾	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 介護事業部長
牧山 智子	エアライン科学生保護者
山下 照彦	株式会社スターフライヤー 総務人事部 部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: [http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka\\_amkc.pdf](http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_amkc.pdf)

#### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/>(学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>(専門学校麻生医療福祉&観光カレッジホームページ)

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程 子ども福祉科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			健康科学	健康や体力に関する知識や関心を高め、合理的な運動実践を習慣化するための方策を学ぶ。	1前	15	1	○			○		○		
○			英会話 I	保育園でも使うことができる初歩的な英会話について学ぶ。	1前	15	1	○			○		○		
○			情報処理入門 I	データと情報の違い、コンピュータの基本的な仕組み・概念について知る。	1後	15	1	○			○		○		
○			教育課程総論	幼稚園におけるカリキュラムについて学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
○			造形表現	幼児の造形教育に必要な絵画・立体造形・デザイン・色彩に関しての基礎知識と表現技術を習得する。	1通	15	1			○	○			○	
○			社会福祉	将来「児童の福祉」を推進する保育士に必要な社会福祉の基礎を学ぶ。 (「現代社会と福祉」読み替え)	1通	30	2	○			○		○		
○			児童家庭福祉	現在の児童福祉について基本的・体系的に学習し、児童福祉実践者としての知識を身につける。(「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」読み替え)	1後	30	1	○			○			○	
○			保育原理	乳幼児の特性や保育思想・制度の発達、現在の保育の課題など、基礎的な知識を培い、自分なりの保育観を持つ。	1前	30	2	○			○		○		
○			社会的養護	用語についての考え方、児童の保護(衣食住)、指導、治療についての理論と実際を専門的に探求する。	1前	30	2	○			○			○	
○			教育心理学	心理学の基礎を学び、人とのコミュニケーションの方法を学ぶ(心理学理論と心理的支援)読み替え)	1後	15	1	○			○			○	
○			教育原理	教育の本質と意義を理解し、教育に関する基本的な概念の習得を図る。	1前	30	2	○			○		○		

○		教育方法論	「教育目的・目標」を達成するために、教育内容を正確に効果的に教え授ける方法について学ぶ。	1後	30	2	○			○									
○		教職概論	教師として教えることの意義、仕事や役割について、歴史・制度・実態などの理解を通し、学ぶ。	1後	30	2	○			○									
○		英会話 I (SC)	保育園でも使うことができる初歩的な英会話について学ぶ。	1前	15	1	○			○									
○		生涯スポーツ (SC)	各種スポーツ技能の向上を中核目標として、スポーツ文化が形成されてきた歴史的・風土的・社会的背景について理解を深める。	1後	15	1				○			○						
○		音楽 (器楽・声楽) (SC)	保育者の音楽技術の習得や資質の向上を目指し、器楽 (ピアノ) ・声楽を学習する。	1後	15	1	△			○		△	○						
○		音楽表現 (SC)	子ども達に豊かな感性や表現力を身に付けさせるために、音楽の楽しさや、喜びを経験し、幼稚園 保育園で音楽活動を実践するために必要な知識、技能を習得する。	1後	15	1				○		○	△						
○		人間関係 (指導法) (SC)	人間関係を豊かに育てる始点に加え、幼稚園の父母組織が実際に保育とどう関わっているか分析する。	1後	15	1	○					○							
○		健康 (指導法) (SC)	人間の身体や健康、それに関わる環境について理解し、子どもの健康に必要な知識とその指導・援助の技術を習得する。	1後	15	1	○					○							
○		造形表現 (SC)	幼児の造形教育に必要な絵画・立体造形・デザイン・色彩に関する基礎知識と表現技術を習得する。	1後	15	1				○		○							
○		教育心理学 (SC)	心理学を演習を交えて学び、人とのコミュニケーションの取り方について学ぶ。(スクリング)	1後	15	1	○					○							
○		劇遊び (指導法) (SC)	様々な素材を使った幼児の表現活動を体験し、その楽しさを知るとともに、幼児にとっての表現活動の意味を理解し、保育現場での実践につなげてゆく力を養う。	1後	15	1	△			○		○							
○		情報処理入門 (SC)	コンピュータの発達過程や仕組みを学び、基本的な操作やネットワーク、アプリケーションソフトの利用をマスターする。	1後	15	1				○			○						
○		環境 (指導法) (SC)	より良い環境を作ろうとする力を幼児の内面に総合的に育てて行くにはどうすればよいかを学ぶ。	1後	15	1	○					○							
○		言葉 (指導法) (SC)	幼児期の言葉の発達段階について学び、話し言葉の獲得期の子どもへの留意点について実践的に学ぶ。	1後	15	1	○					○							
○		現代社会と福祉	社会福祉の基礎について学ぶ。	1通	60	4	○					○							

○		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者問題とその施策について理解し、障害者問題に対する問題点を考える	1後	30	2	○			○									
○		児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	現在の児童福祉について基本的・体系的に学習し、児童福祉実践者としての知識を身につける。	1後	30	2	○			○									
○		相談援助実習指導（1年次分）	障害者施設での相談援助実習に向けて、実習先の決定、利用者の方との関わり方、実習先での留意点等について学ぶ。	1通	60	4	○	△		○									
○		心理学理論と心理的支援	心理学の基礎を学び、人とのコミュニケーションの方法を学ぶ。	1後	30	2	○			○									
○		相談援助の基盤と専門職	社会福祉援助活動において活用される専門的援助技術を学ぶ。	1通	60	4	○			○									
○		高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉とその施策について理解し、真の長寿社会を築くためにはどうすれば良いかを学ぶ。	1通	60	4	○			○									
○		相談援助演習（1年次分）	ロールプレイングを交えながら、社会福祉士としての基礎・応用・実践についての知識・技術を学ぶ。	1通	60	4			○	○									
○		相談援助実習（1年次分）	障害者施設での実習で、社会福祉施設における利用者との関わり方や業務の実態について学ぶ。	1後	90	2				○			○	○	○	○	○	○	○
○		音楽Ⅰ	幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得を目指す。楽典の基礎を学び、譜面の読み方やリズムの取り方を理解する。	1通	90	6				○	○								○
○		保育実習指導Ⅰ	保育園実習に向けて、実習の基礎を学ぶ。	1前	30	2	○		△	○									
○		教育実習指導Ⅰ	幼稚園実習に向けて、実習の基礎を学ぶ。	1後	30	2	○		△	○									
○		接遇マナーⅠ	社会人として必要とされるマナーについて学ぶ。	1通	15	1			○	○									
○		パソコン実習	クラス便りや献立表、住所録が作れる操作を身に付ける。	2通	45	3			○	○									○
○		GCBⅠ	「感謝と思いやり」（依存から自立へ）をテーマに、社会人としてのマナー及びビジネスマナーを学ぶ。	1前	15	1			○	○									○
○		子どもの保健Ⅰ①	胎児期から青年期までの心身の発達、小児の主な疾患と特徴を知り、疾病予防のための生活と環境について習得する。	2後	30	2	○			△	○								○



○		子どもの食と栄養	栄養に関する基礎知識を学び、乳幼児の発達段階に応じた食事や集団給食について学ぶ。	2後	15	1	○			○										
○		図画工作Ⅱ	幼児が本来持っている豊かなイメージや表現力・想像力を引き出し、造形表現に対して適切な援助を行える能力を養成する。	2通	15	1				○	○									○
○		児童文化	子どもの遊びの重要性を認識し、様々な児童文化について把握し、保育現場で実践的な指導のあり方について学ぶ。	2後	15	1	○				○									○
○		家庭支援論	社会的な子育て課程支援が必要となった時代的背景とニーズ、子育て支援体制の現状について学ぶ。	2前	30	2	○				○									○
○		教育相談	カウンセリングの基礎知識を学び、子供や保護者に対する基本的援助の方法を学ぶ。	2前	30	2	○				○									○
○		乳幼児心理学	乳幼児を対象とする保育・幼児教育に対して、発達心理学の知見を深める。	2前	15	1	○				○									○
○		障害児保育	障害児の発達的変化を促す保育的援助について学ぶ。	2後	15	1	○				○									○
○		日本国憲法	日本国憲法について、誰に向けられたたものであり、何を定めているのかを学ぶ。	2前	30	2	○				○									○
○		保育実習Ⅰ事前事後指導(保育所)(SC)	保育実習の目的の達成をより確かなものにするために、これまでの学びをより実践的な観点から集約し、保育実習に向けた学びを行う。	2後	15	1	○				○									○
○		保育実習Ⅰ事前事後指導(施設)(SC)	保育実習の目的の達成をより確かなものにするために、これまでの学びをより実践的な観点から集約し、保育実習に向けた学びを行う。	2後	15	1	○				○									○
○		保育相談支援(SC)	保育士として、子ども達だけではなく保護者に対する支援についても学ぶ。(スクーリング)	2前	15	1	○				○									○
○		教育実習事前事後指導(SC)	教育実習の目的の達成をより確かなものにするために、これまでの学びをより実践的な観点から集約し、教育実習に向けた学びを行う。	2前	15	1	○				○									○
○		子どもの食と栄養(SC)	栄養に関する基礎知識を学び、乳幼児の発達段階に応じた食事や集団給食について実技を通して学ぶ。	2後	15	1	○				△	○								○
○		幼児体育(SC)	幼児体育指導を実践する上で必要な技術と教材作りに関する実践的な知識・技能を修得する。	2後	15	1					○									○
○		音楽Ⅰ(器楽・声楽)(SC)	保育者の音楽技術の習得や資質の向上を目指し、器楽(ピアノ)・声楽を学習する。(スクーリング)	2後	15	1					○	○							△	○



○		相談援助実習 (2年次分)	障害者施設での実習で、主に個別支援計画の作成など、利用者本意のサービスのあり方について学ぶ。	2 前	90	2			○		○	○	○	○
○		音楽Ⅱ	幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得を目指す。楽典の基礎を学び、譜面の読み方やリズムの取り方を理解する。	2 通	90	6			○	○				○
○		GCBⅡ	「志」（自立から相互依存へ）をテーマに、社会人としてのマナー及びビジネスマナーを学ぶ。	2 後	15	1		○		○		○		
○		施設実習指導Ⅰ	施設実習に向けた指導を行う。	2 後	30	2	○		△	○		○		
○		教育実習指導Ⅱ	幼稚園実習に向けた指導を行う。	2 前	30	2	○		△	○		○		
○		子どもの保健Ⅰ②	胎児期から青年期までの心身の発達、小児の主な疾患と特徴を知り、疾病予防のための生活と環境について習得する。	3 前	30	2	○				○			○
○		発達心理学	人間は障害発達であることを基本において、乳幼児・児童・青年・高齢者までの心理について考える。	3 前	30	2	○				○			○
○		保育・教育実践演習	保育現場で活用できることについてテーマを決め、研究し、知識と技術の向上を図る。（卒業研究に読み替え）	3 後	15	1		○		○	△	○		
○		乳児保育	未満児の保育について、制度と現状、発達課題、保育内容、保育実践方法を学習し知識と技能の基礎を身につける。	2 前	15	1	○				○		○	
○		子どもの保健Ⅱ(SC)	子どもの保健Ⅰを基礎にさらに知識を深める。	3 前	15	1	○		△	○				○
○		言語表現(SC)	乳幼児期の言葉の発達段階について学び、話し言葉の獲得期の子どもへの留意点について実践的に学ぶ。	3 前	15	1	○		△	○				○
○		乳児保育(SC)	未満児の保育について、制度と現状、発達課題、保育内容、保育実践方法を学習し知識と技能の基礎を身につける。	2 後	15	1	○				○		○	
○		保育実習事前事後指導Ⅱ(SC)	児童養護施設等での実習前後の指導を行う。（「保育実習事前事後指導Ⅲ」と選択）	3 前	15	1					○		○	○
○		保育実習事前事後指導Ⅲ(SC)	保育園での実習（2回目）前後の指導を行う。（「保育実習事前事後指導Ⅲ」と選択）	3 前								○		○
○		相談援助(SC)	保育士を目指す者に必要とされる社会福祉援助活動・技術の基礎を習得する。（スクリング）	3 前	15	1	○				○			○

○		保育・教育実践演習(SC)	保育現場で活用できることについてテーマを決め、研究し、知識と技術の向上を図る。(スケーリング)	3後	15	1		○	○	△	○			
○		保育実習Ⅰ(施設)	児童養護施設(保育園以外の児童福祉施設)等での実習を行う。	3前	80	2		○		○	○	○	○	○
	○	保育実習Ⅱ	保育園での実習を行う。(保育実習Ⅲとの選択)	3後	80	2		○		○	○	○	○	○
	○	保育実習Ⅲ	保育園以外の児童福祉施設での実習を行う(保育実習Ⅱとの選択)	3後				○		○	○	○	○	○
○		教育実習Ⅱ	幼稚園での実習を行う。	3前	80	2		○		○	○	○	○	○
○		福祉行財政と福祉計画	福祉についての行政サービス・福祉計画について学ぶ。	3前	30	2	○		○				○	
○		相談援助演習(3年次分)	ロールプレイングを交えながら、社会福祉士としての基礎・応用・実践についての知識・技術を学ぶ。	3後	30	2		○		○		○		
○		社会保障	我が国の医療、介護、年金、労働保険な社会保障の各制度の基本的な仕組みを理解する。	3通	60	4	○		○				○	
○		人体の構造と機能及び疾病	人体の構造及び疾病について学ぶ。	3前	30	2	○		○				○	
○		社会調査の基礎	社会調査の意義と目的及び方法の概要、統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報について、量的調査の方法及び質的調査の方法について理解する。	3前	30	2	○		○				○	
○		保健医療サービス	保健医療に関する制度やサービス体系を理解し、保健医療と福祉の包括的支援のために必要な連携・協働についての知識を習得する。	3前	30	2	○		○				○	
○		相談援助の理論と方法(3年次分)	相談援助のあり方の基本について学ぶ。	3通	60	4	○		○		○			
○		卒業研究	人形劇・オペレッタ製作の理論・実技について学ぶ。また実際に製作し、発表する。	3通	60	4	△		○	○	△	○		
○		音楽Ⅲ	幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得を目指す。楽典の基礎を学び、譜面の読み方やリズムの取り方を理解する。	3通	90	6		○	○					○
○		保育実習指導Ⅱ	保育実習に向けた指導を行う。	3通	60	4	○		△	○				○

○		施設実習指導Ⅱ	施設実習に向けた指導を行う。	3前	15	1	○	△	○			○
○		接遇マナーⅡ	社会人として必要とされるマナーについて学ぶ。	3通	15	1	○		○			○
○		カウンセリング入門	心理カウンセリングについての基礎を学ぶ。	3前	15	1	○		○			○
合計				102 科目	3250 単位時間( 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。		1 学年の学期区分	2 期
イ. 卒業基準検定を取得していること。			
ウ. 学年の出席率が90%以上であること。			
エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。